

第47回 国土地理院報告会

特別講演 地球の真の姿を求めて
ドイツ文学者から見た近代測量の歴史

いしはら
石原 あえか 氏

東京大学大学院
総合文化研究科 教授

ドイツ・ケルン大学哲学博士 (Ph. D.)。専門はゲーテ研究。2009 年度 A. v. フンボルト財団フェローとして、イエーナ大学 (FSU) で主にゲーテと近代測地学に関する研究に従事。主要成果としてドイツで上梓した単著 : *Die Vermessbarkeit der Erde* (2011) をもとに、日本語で書き下ろした『近代測量史への旅』(法政大学出版局, 2015) が、近代測量に新しい解釈を与えた作品として、測量および土木領域から注目される。日独 2 か国語の著書・論文・講演多数。『科学する詩人』(慶應義塾大学出版会, 2010) によりサントリー学芸賞、2013 年にドイツ連邦大統領から Ph. F. v. Siebold-Preis (シーボルト賞) を受賞するなど、日本とドイツ語圏両方で、文・理系の垣根を越えて広く活躍する。新刊に医学史を扱った『日本のムラージュ』(青弓社) がある。



© 大西成明

国土地理院
取組報告

変貌する地球の姿を測り、描く

開催日 平成 30 年 6 月 6 日 (水) 10:00~(開場9:30)

会場 日経ホール 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル3F
地下鉄「大手町駅」下車 C2b出口直結

参加方法 事前登録制・参加費無料
<http://www.gsi.go.jp/REPORT/HAPPYYOU/main47.html>
本報告会は、測量 CPD の認定プログラムです。



【問い合わせ先】 国土交通省 国土地理院 企画部 企画調整課 国土地理院報告会事務局
TEL: 029-864-4584 E-mail: gsi-houkokukai@ml.mlit.go.jp

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

■ プログラム

変貌する地球の姿を測り、描く

10:00～10:10 開会の挨拶

国土地理院長 村上 広史

【報告 午前の部】

10:10～10:35 ビッグデータを活用した登山道修正の取組

基本図情報部地名情報課長 大塚 孝治

10:35～11:00 被害状況を一刻も早く把握し、分かり易く提供するための取組

防災企画調整官 永山 透

11:00～11:25 地形を知って自然災害に備える
—地形に刻まれる災害の爪痕—

応用地理部地理調査課長 沼田 佳典

11:25～11:50 「地図の利用手続のあり方検討部会」の検討状況について

地理空間情報部情報企画課長 福島 忍

11:50～13:15 —昼 休 み—

13:15～14:05 【特別講演】地球の真の姿を求めて
ドイツ文学者から見た近代測量の歴史

東京大学大学院総合文化研究科 教授 石原 あえか

14:05～14:15 —休 憩—

【報告 午後の部】

14:15～14:40 準天頂衛星システムが実現する高精度測位社会を支える電子基準点

測地観測センター地震調査官 黒石 裕樹

14:40～15:05 明治以来の標高の仕組みを大転換
—いつでも・どこでも・誰でも信頼できる標高が使える社会へ—

測地部物理測地課長 矢萩 智裕

15:05～15:30 GNSS 観測から高時間分解能で地殻変動を捉える
—精密単独測位法による電子基準点キネマティック GNSS 解析システム—

測地部宇宙測地課長 宗包 浩志

15:30～15:35 閉会の挨拶

国土地理院参事官 山内 正彦